

取扱説明書

DMT-DD

タッチパネルドライバ

重要

- ・ご使用前には必ず使用上の注意、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・本書で提供するソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することができます。

-
- ・最新の取扱説明書は、当社のWebサイトからダウンロードできます。

<http://www.eizo.co.jp>



DMT-DDについて

DMT-DD は、抵抗膜方式の当社タッチパネルモニターをWindows 8.1 / Windows 8 で動作させるために必要なドライバです。

-
- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
 - 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
 - 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
 - 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Internet Explorer、Microsoft、WindowsはMicrosoft Corporation の米国その他の国における登録商標です。

DDT-DD はDMC Co, Ltd の登録商標です。

EIZO、EIZO ロゴは株式会社EIZOの日本およびその他の国における登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

DMT-DDについて	2
目次	3
第1章 概要と要件	4
使用上の注意事項	4
第2章 セットアップ	5
2-1. DMT-DDのインストール	5
2-2. タッチパネルドライバのインストール	8
2-3. タッチパネルドライバのアンインストール	13
2-4. 設定ファイルの登録	15
2-5. タッチパネルのセットアップ	16
2-6. タッチパネルの補正	19
2-7. DMT-DDのアンインストール	20
第3章 基本設定	22
3-1. ソフトウェア設定	22
3-2. タッチ入力設定	26
3-3. 右クリック設定	30
3-4. ハードウェア情報	31
3-5. 設定ファイル	32
第4章 タッチ設定	33
第5章 マウス設定	35
第6章 設定ツール	36

第1章 概要と要件

●システムの概要

DMT-DDは、タッチパネルを動作させるために必要となる次の機能を提供しています。

- ・タッチパネルドライバのインストール/アンインストール
- ・タッチパネルドライバの設定

●動作条件

OS	・ Windows 8.1（32ビット/64ビット） ・ Windows 8（32ビット/64ビット）
インターフェース	・ USB ・ RS-232C
対象モニター	・ 抵抗膜方式のタッチパネルモニター

注意

- ・ Windows 8.1 / Windows 8のシステムビルダーバージョンは、使用できません。

●システムの要件

ソフトウェア	・ .Net Framework3.5
ハードディスク	・ システムドライブに10MBほどの空き容量/データファイル保存容量

参考

- ・ システムプロパティは「タッチ（制限あり）のサポート」と表示される場合があります。

使用上の注意事項

- ・ 本ソフトウェアは、本書の説明に従って使用してください。異なった使用方法では、正常に動作しない場合があります。
- ・ 本ソフトウェアは、規定する動作条件以外では使用しないでください。正常に動作しない場合があります。また、動作条件を満たす場合であっても、特定のシステム環境では正常に動作しない場合があります。
- ・ 他のマウスエミュレーションソフトウェア、または類似の機能を提供するソフトウェアがインストールされた環境では使用しないでください。正常に動作しない場合があります。
- ・ 本ソフトウェア以前のバージョンがすでにインストールされている場合、必ずアンインストールをおこなってください。上書きインストールをおこなった場合は正常に動作しないことがあります。
- ・ 当社では、本ソフトウェアに起因するいかなるトラブルに関しても一切の責任を負いかねます。本ソフトウェアを導入する前に、必ずシステムのバックアップをお取りください。

第2章 セットアップ

2-1. DMT-DDのインストール

注意点

- DMT-DDを再インストールする場合、アンインストール後にコンピュータを再起動してからインストールしてください。

1. コンピュータとモニターを接続します。

接続方法については、モニターの取扱説明書を参照してください。

RS-232C ケーブルを利用する場合、モニターのRS-232C ポートとコンピュータのCOM ポートを接続してください。

注意点

- 変換アダプタなどを使用して接続しないでください。タッチパネルが正しく動作しない場合があります。
- USBケーブルを利用する場合、DMT-DDをインストールした後に接続してください。

2. 電源コードを電源コネクタと電源コンセントに接続します。

3. モニターの電源を入れます。

4. コンピュータの電源を入れ、管理者権限でログインします。

ユーザーアカウントの権限については、システム管理者に問い合わせてください。

5. インストーラを起動します。

「DMT-DDセットアップウィザードへようこそ」画面が表示されます。



参考

- 当社Webサイトからインストールをおこなう場合は、次の手順となります。
 - ダウンロードファイルを解凍します。
 - 「DMT-DDSetup.msi」をダブルクリックします。

6. 「次へ」をクリックします。

「ライセンス条項」画面が表示されます。

7. ライセンス条項をお読みください。条件に同意される場合は「同意する」を選択し「次へ」をクリックします。



「インストールの確認」画面が表示されます。

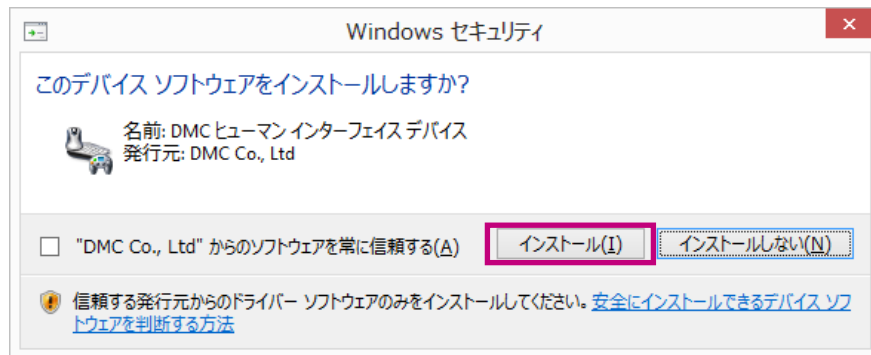
8. 「次へ」をクリックします。

インストールを開始します。



参考

- インストールの途中で、次のような画面が数回表示される場合があります。その場合は「インストール」をクリックしてください。



「インストールが完了しました。」画面が表示されます。

9. 「閉じる」をクリックします。

インストールが完了します。

2-2. タッチパネルドライバのインストール

インストールをおこなうときは、タッチパネルを接続した状態でおこなってください。

注意点

- タッチパネル設定ツールは、タッチパネルドライバのインストールをおこなうため、ユーザーアカウントにコンピュータの管理者権限が必要です。ユーザーアカウントの権限設定についてはシステム管理者へ問い合わせてください。
- ユーザーアカウント制御の設定によって、次のような画面が表示される場合があります。「はい」をクリックしてください。



参考

- 接続にUSBを使用すると、自動的にUSBタッチパネルドライバがインストールされます。
- COMポートが接続されている場合、自動的にCOMポートとタッチパネルコントローラが接続されているか検索します。検索を無効にする場合は、「デバイス追加」の「COMポート検索無効」をチェックしてください。



1. DMT-DDを起動します。





「タッチパネル設定ツール」画面が表示されます。

「タッチパネルデバイス一覧」に接続しているUSBのタッチパネルコントローラ、接続可能なCOMポート、またはインストールしてあるドライバがアイコンで表示されます。



参考

- USB接続のタッチパネルコントローラを接続、または切断すると自動的に「タッチパネルデバイス一覧」が更新されます。
- 「タッチパネルデバイス一覧」は、インストールまたはアンインストール中は自動更新されません。更新する場合は「リスト更新」ボタンをクリックしてください。
- DMT-DDが正常にインストールされると、デスクトップにショートカットが作成されます。ショートカットをダブルクリックすることでDMT-DDを起動することができます。
- DMT-DDの起動は、次のプログラムファイルからも起動することができます。
 - 32bitの場合：システムドライブ\Program Files\DMT-DD\bin\DMT-DD.exe
 - 64bitの場合：システムドライブ\Program Files(x86)\DMT-DD\bin\DMT-DD.exe
- アイコンの間隔は、OSの設定に依存しています。
- アイコンは次のように表示されます。

接続	アイコン	タッチパネルドライバの状態
USB	 USB Port Touch Panel Controller	インストール前 ^{※1}
	 TP Driver (USB) ID:1	インストール後
COMポート VCPポート	 COM Port (COM1) 未接続	インストール前
	 TP Driver (COMx) ID:1	インストール後

※1 DMT-DDのインストール前にUSBケーブルを接続している場合にのみ表示されます。

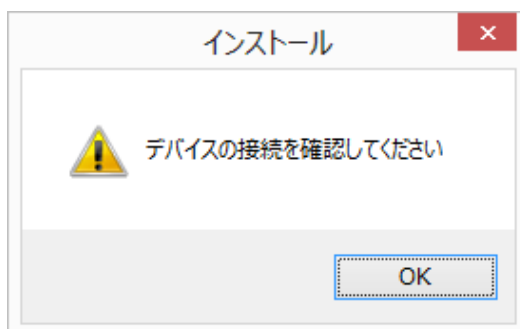
2. インストールする対象のデバイスを選択します。

タッチパネルデバイス一覧から、タッチパネルドライバをインストールするデバイスのアイコンを選択します。または、タッチパネルドライバをインストールするモニターの画面をタッチします。タッチしたモニターと接続しているアイコンが選択されます。



注意点

- COMポート（RS-232C）接続の場合、「インストール」をクリックした時点でコントローラの接続が確認できていないときは、インストールを開始できません。COMポートの接続を確認してください。

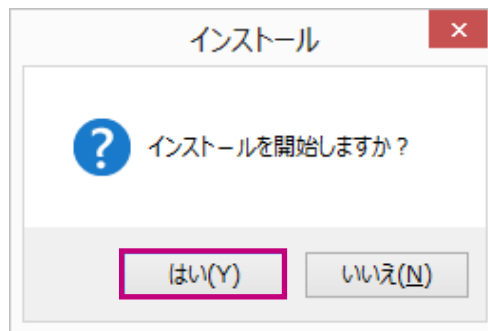


3. インストールをクリックします。

確認画面が表示されます。

4. 「はい」をクリックします。

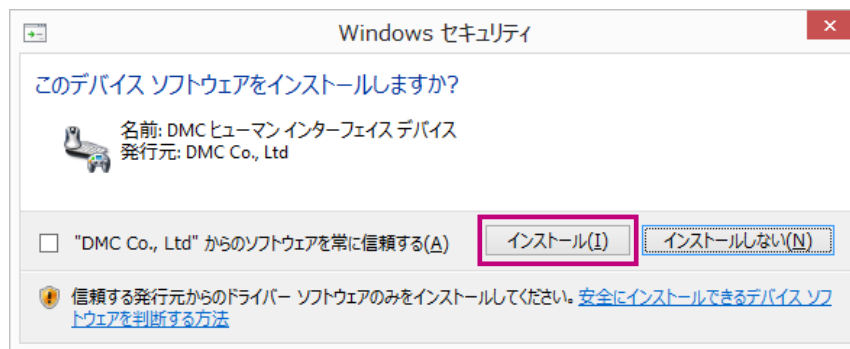
インストールが開始されます。



「インストールを終了しました」画面が表示されます。

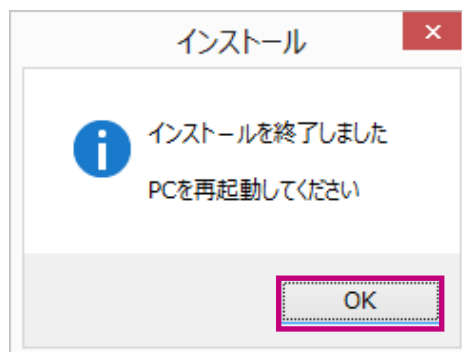
参考

- 初めてインストールする場合、次の画面が表示されます。「インストール」をクリックします。



5. 「OK」をクリックしてください。

インストールが完了します。



インストールが正常に完了すると「タッチパネルデバイス一覧」のアイコンがインストール後のアイコンに変更されます。



6. コンピュータを再起動します。

2-3. タッチパネルドライバのアンインストール

注意点

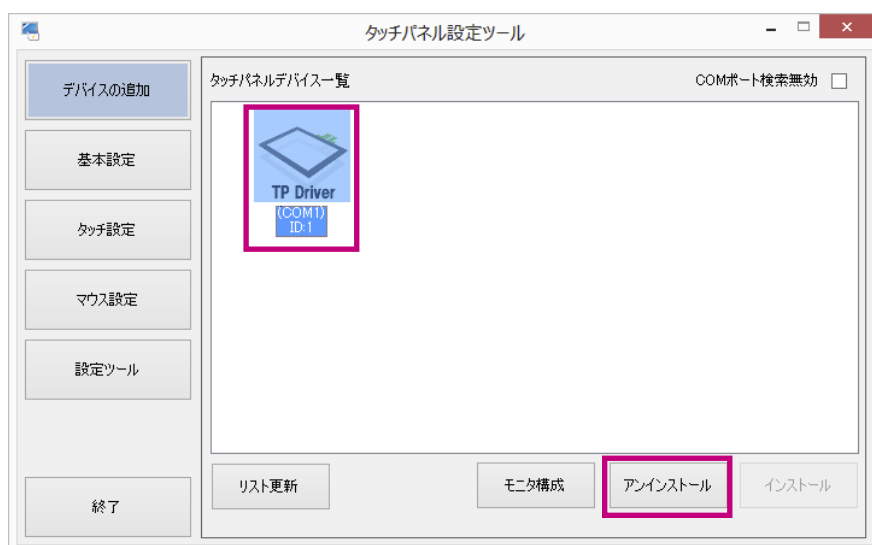
- USB接続のタッチパネルドライバは、「タッチパネル設定ツール」からアンインストールをすることはできません。DMT-DDをアンインストールすると、タッチパネルドライバは自動的にアンインストールされます（「2-3. タッチパネルドライバのアンインストール」(P.13) 参照）。

1. DMT-DDを起動します。

「タッチパネル設定ツール」画面が表示されます。

2. アンインストール対象のデバイスを選択します。

タッチパネルデバイス一覧から、アンインストールするタッチパネルドライバのアイコンを選択します。または、アンインストールをするモニターの画面をタッチします。タッチされたモニターのタッチパネルドライバが選択されます。

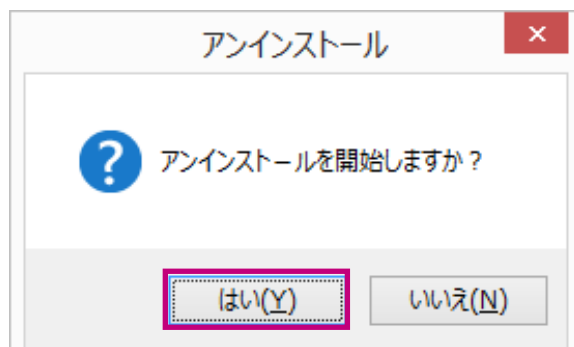


3. アンインストールを選択します。

確認画面が表示されます。

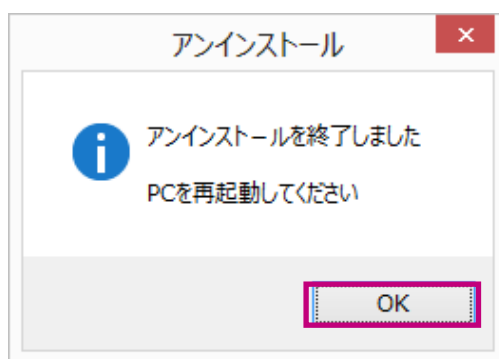
4. 「はい」をクリックします。

アンインストールが開始されます。



「アンインストールを終了しました」画面が表示されます。

- 5. 「OK」をクリックします。**
アンインストールが完了します。



- 6. コンピュータを再起動します。**

2-4. 設定ファイルの登録

タッチパネルの入力方法に応じた設定ファイルを登録します。

注意点

- 初期設定の場合、「設定ファイル」は登録されていません。設定ファイルが未登録の場合はタッチ入力（Touch.mfd）が選択されます。

1. 「基本設定」の「Device Select」から設定ファイルを登録するタッチパネルドライバを選択します。

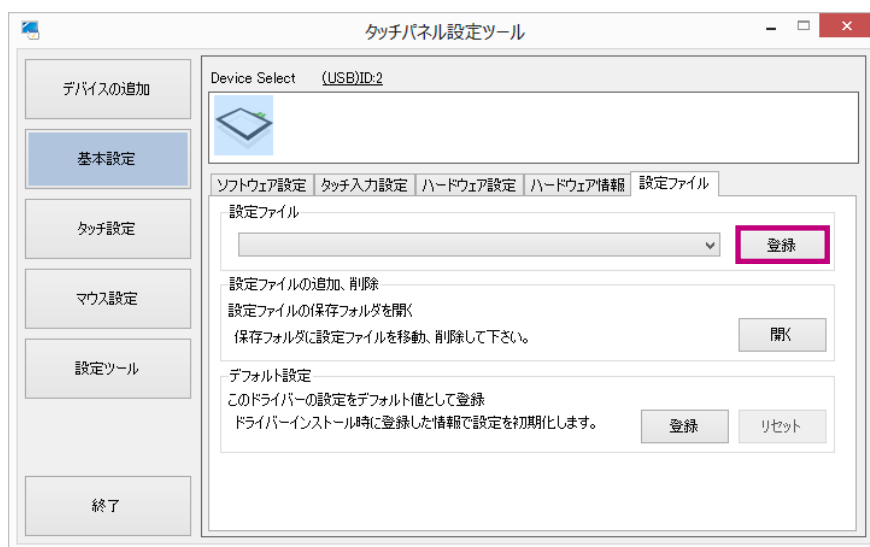
2. 「設定ファイル」タブの「設定ファイル」プルダウンメニューから、入力方法に応じたファイルを選択します。

タッチ入力をする場合、またはマウス入力をする場合によって任意の設定ファイルを選択します。

入力方法	ファイル名
タッチ入力をする場合	Touch.mfd
マウス入力をする場合	Mouse.mfd

3. 「登録」をクリックします。

登録した設定は、タッチパネルドライバをインストールしたときの初期設定となります。



2-5. タッチパネルのセットアップ

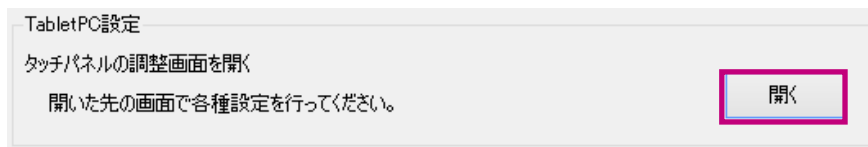
●タッチ入力をする場合

注意点

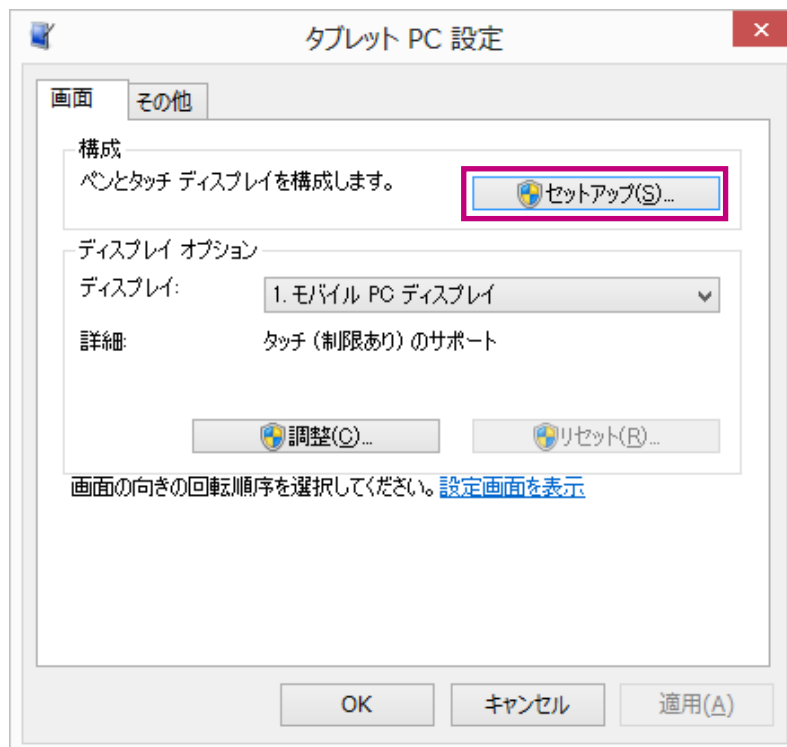
- 複数のモニターを接続する環境の場合
 - タッチ入力は正常に作動することができません。
 - 複数のモニターをタッチ入力で使用することはできません。正常に作動することができません。

1. 「タッチ設定」の「TabletPC設定」から「開く」をクリックします。

Windows標準の設定画面「Tablet PC」が表示されます。



2. 「画面」タブを選択し「構成」 - 「セットアップ」をクリックします。



3. 次のメッセージが表示されているモニター画面をタッチします。

タッチスクリーンであることを指定するには、この画面をタッチしてください。

この画面が TabletPC 画面でない場合は、Enter キーを押して次の画面に移動します。
ツールを終了するには、Esc キーを押してください。

モニター画面をタッチすると、順に次の画面に同じメッセージが表示されます。
設定完了後、タッチパネルモニターをタッチするとカーソルが表示されます。

参考

- モニター画面がタッチパネルでない場合はキーボードの「ENTER」を押してください。メッセージが次の画面に表示されます。
-

4. 設定完了後、タッチパネルモニターをタッチします。

タッチパネルモニターにカーソルが表示されます。

●マウス入力をする場合

複数のモニターを接続する環境の場合、次の機能を実行する必要があります。

1. 「デバイス追加」の「モニター構成」ボタンをクリックします。



「タッチパネルデバイス一覧」に表示されているアイコンの一番左のモニターから順に、次の画面が表示されます。

このモニターのタッチパネルを2回連続してタッチしてください。

次のモニターを設定する場合は、Enter ボタンを押します。
キャンセルするには、ESC ボタンを押します。

このモニターで設定されたドライバが下記に表示されます。

2. タッチパネルを2回タッチします。

タッチされたタッチパネルが画面上に表示されます。

このモニターのタッチパネルを2回連続してタッチしてください。

次のモニターを設定する場合は、Enter ボタンを押します。
キャンセルするには、ESC ボタンを押します。

このモニターで設定されたドライバが下記に表示されます。
(1)ROOT\HIDCLASS\0001

3. キーボードの「Enter」を押します。

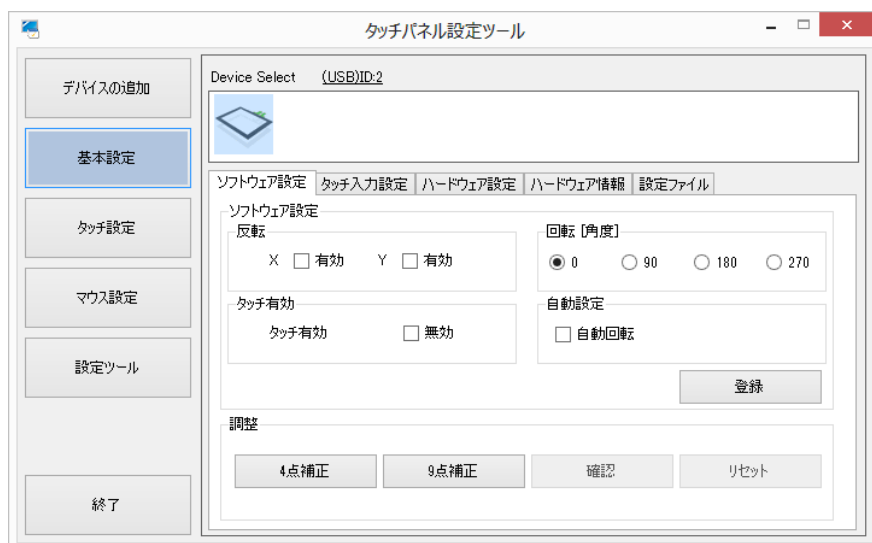
複数のモニターが存在する場合は、次のモニターに手順1の画面が表示されます。再度手順1から設定をおこなってください。

途中でキャンセルする場合はキーボードの「ESC」を押してください。

2-6. タッチパネルの補正

補正をおこなうことによって、タッチした位置とカーソルの位置を合わせることができます。

1. 「基本設定」の「ソフトウェア設定」タブを選択します。



2. Device Select 画面からタッチパネルドライバを選択します。

3. 「調整」の「4点補正」または「9点補正」をクリックします。

補正画面が表示されます。



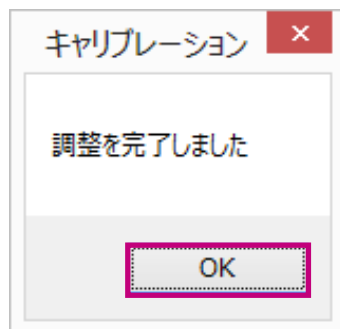
4. マーカーの中心をタッチします。

5. 次のマーカーが表示されます。マーカーの表示する順にタッチします。

すべてのマーカーをタッチすると補正が完了します。

「調整を完了しました」画面が表示されます。

6. 「OK」をクリックします。



2-7. DMT-DDのアンインストール

注意点

- DMT-DDをアンインストールすると、タッチパネルドライバは自動的にアンインストールされます。
- 常駐機能が有効の場合、アンインストールが失敗する場合があります。アンインストールをするときは、常駐機能を無効に設定してください。（「常駐設定」(P.36) 参照）

1. 「DMT-DDSetup.msi」をダブルクリックします。

インストーラが起動します。「DMT-DDセットアップウィザードへようこそ」画面が表示されます。

2. 「DMT-DDの削除」を選択し、「完了」をクリックします。



「インストールが完了しました。」画面が表示されます。

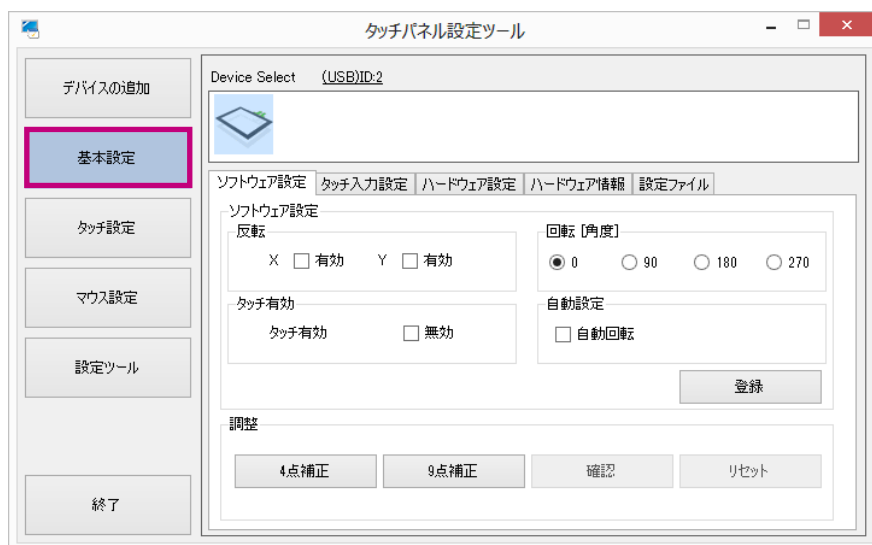
3. 「閉じる」をクリックします。



4. アンインストールが完了します。

第3章 基本設定

タッチパネルドライバおよびタッチパネルコントローラを、個別に設定またはメンテナンスすることができます。



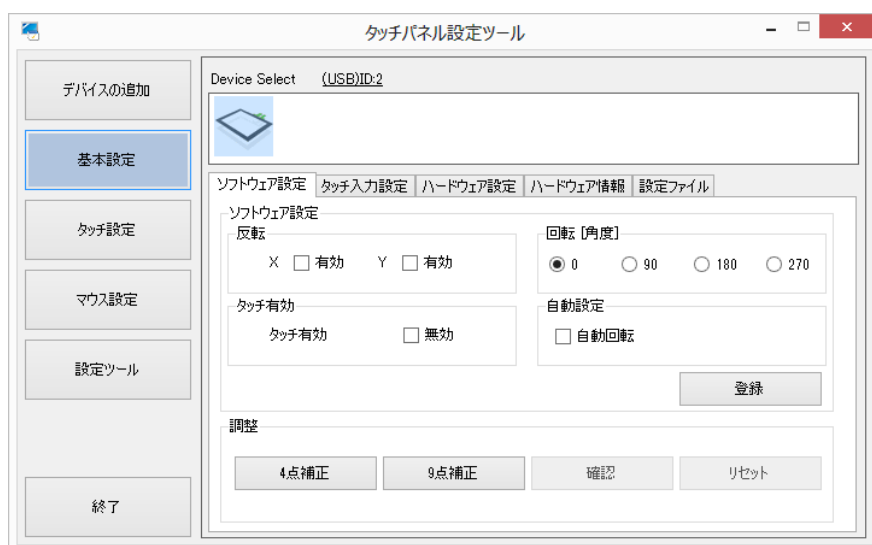
「Device Select」から対象のタッチパネルドライバ、タッチパネルコントローラを選択し設定します。また、設定をおこないたいモニターの画面をタッチすることでタッチパネルドライバ、またはタッチパネルコントローラを選択することができます。

3-1. ソフトウェア設定

「基本設定」の「ソフトウェア設定」タブを選択します。現在選択されているタッチパネルドライバ、またはタッチパネルコントローラの設定をおこなうことができます。

注意点

- ・「自動設定」と「調整」の各機能を実行する場合、「モニター構成」または「TabletPC設定」のセットアップが完了している必要があります。（「2-5. タッチパネルのセットアップ」(P.16) 参照）



ソフトウェア設定

■反転

- X軸

初期設定：チェックなし

有効にするとタッチした際のX座標が反転して出力されます。

- Y軸

初期設定：チェックなし

有効にするとタッチした際のY座標が反転して出力されます。

■回転

初期設定：0度

タッチした際に選択した「0」/「90」/「180」/「270」度回転したXY座標が出力されます。

■タッチ有効

初期設定：チェックなし

無効をチェックすることで、タッチ入力を無効化します。

■自動設定

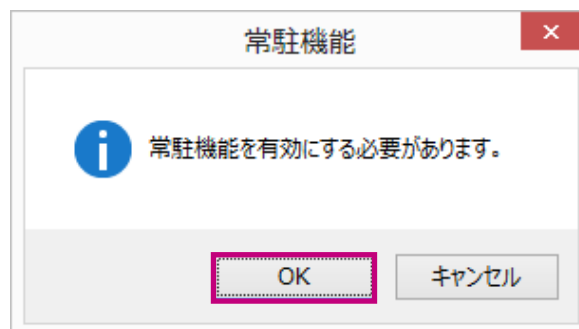
- 自動回転

初期設定：チェックなし

常駐機能により、画面の回転の自動検出を有効にします。

■注意点

- ・「自動回転」機能はマウス入力をする場合のみ有効です。（「3-5. 設定ファイル」(P.32) 参照）
- ・登録時に常駐機能が無効になっている場合、登録実行時に次の画面が表示されます。「OK」をクリックしてください。



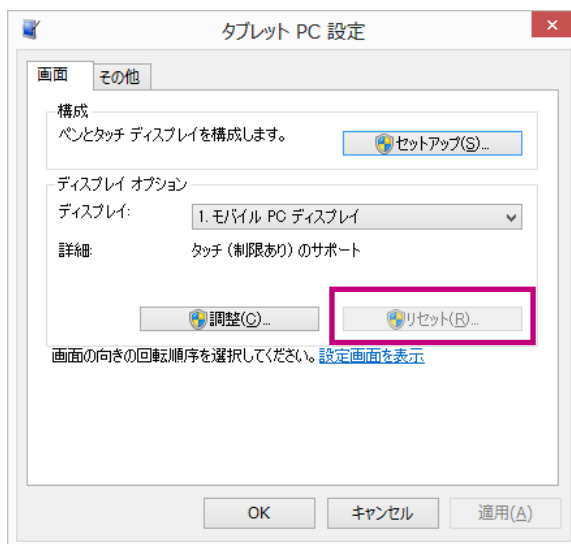
調整

タッチパネルの補正をおこなうことができます。

抵抗膜方式のタッチパネルコントローラを使用する場合は「調整」を必ずおこなってください。

注意点

- 「調整」を実行する場合「モニター構成」/「TabletPC設定」のセットアップを完了している必要があります。タッチ入力の場合は「TabletPCの構成」のセットアップを完了している必要があります。（「2-5. タッチパネルのセットアップ」(P.16) 参照）
- 「タッチパネル設定ツール」でタッチパネルの補正をおこなう場合、Windows標準の調整機能は使用しないでください。すでに設定済みの場合はリセットが必要です。Windows標準の設定画面「タブレットPC設定」で「リセット」をクリックしてください。



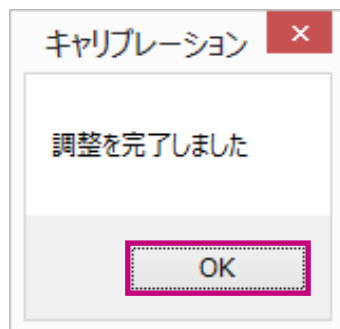
■4点補正/9点補正

タッチパネルの補正をおこなうことによってタッチした位置とカーソルの位置を合わせることができます。

1. Device Select 画面からタッチパネルドライバを選択します。
2. 「調整」の「4点補正」または「9点補正」をクリックします。
調整画面が表示されます。



3. マーカーの中心をタッチします。次のマーカーが表示されます。
4. マーカーを表示する順にタッチします。すべてのマーカーをタッチすると補正が完了します。
「調整を完了しました」画面が表示されます。
5. 「OK」をクリックします。

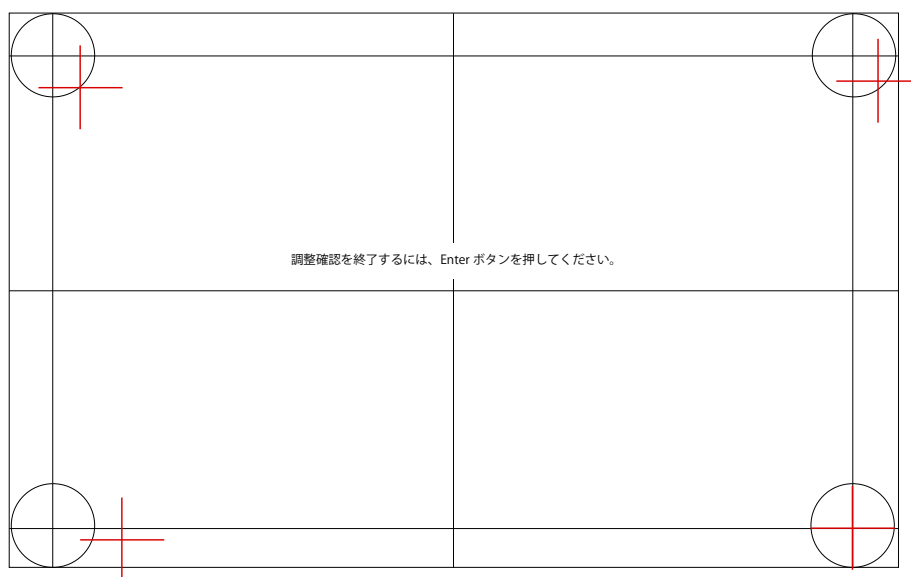


■リセット

調整結果を初期化します。リセットを押します。

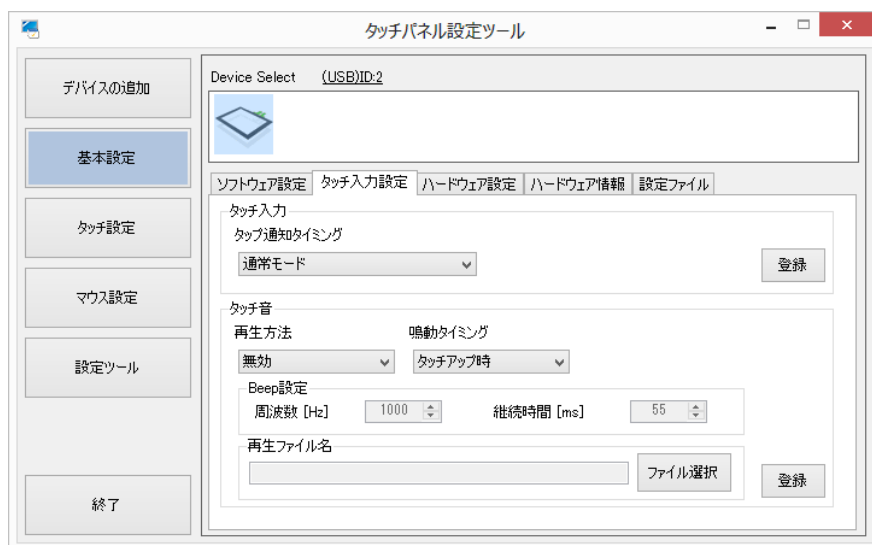
■確認

調整データを確認することができます。理想点が青色、タッチした補正点は赤色で表示されます。確認を終了する場合は、キーボードの「Enter」を押します。



3-2. タッチ入力設定

「基本設定」の「タッチ入力設定」タブを選択します。



タッチ入力

初期設定：通常モード

タッチ入力の動作を設定できます。各設定を選択し、登録をクリックします。

■タップ通知タイミング

- 通常モード

タッチダウン操作でタッチダウンを通知、タッチアップ操作でタッチアップを通知します。

- 離れたときクリック

タッチアップ操作のタイミングでタップ（タッチダウン、タッチアップ）を通知します。
タッチ入力をする場合（Touch.mfd）でも、ポインタがカーソル表示に変わります。

- タッチしたときクリック

タッチダウン操作のタイミングでタップ（タッチダウン、タッチアップ）を通知します。
タッチ入力（Touch.mfd）の場合でも、ポインタがカーソル表示に変わります。

注意点

- タッチ入力をする場合（Touch.mfd）、「離れたときクリック」/「タッチしたときクリック」に設定したときは、長押しによる右クリックが使えません。

タッチ音

ドライバのタッチ音の動作を設定できます。
設定を選択し、登録をクリックしてください。

■再生方法

- **無効**
タッチ音なし。
- **ハードウェア再生**
マザーボード上のBEEPが鳴動します。
- **ソフトウェア再生**
スピーカーからBEEPが鳴動します。
- **ファイル再生**
スピーカーから指定されたwavファイルが鳴動します。

■鳴動タイミング

- **タッチアップ時**
タッチアップ操作時にタッチ音が鳴動します。
- **タッチダウン時**
タッチダウン操作時にタッチ音が鳴動します。
- **タッチダウン中**
タッチダウン操作からタッチアップ操作の間、タッチ音が鳴動します。

■周波数[Hz]

初期設定：1000Hz
設定値　：37Hz～32767Hz
タッチ音の鳴動周波数を設定できます。

■継続時間[ms]

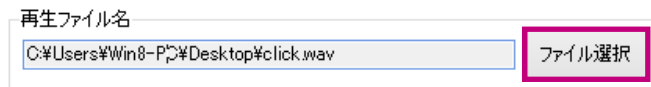
初期設定：55ms
設定値　：1ms～5000ms
タッチ音の鳴動継続時間を設定できます。
1ms～5000msの範囲で設定できます。

■再生ファイル名

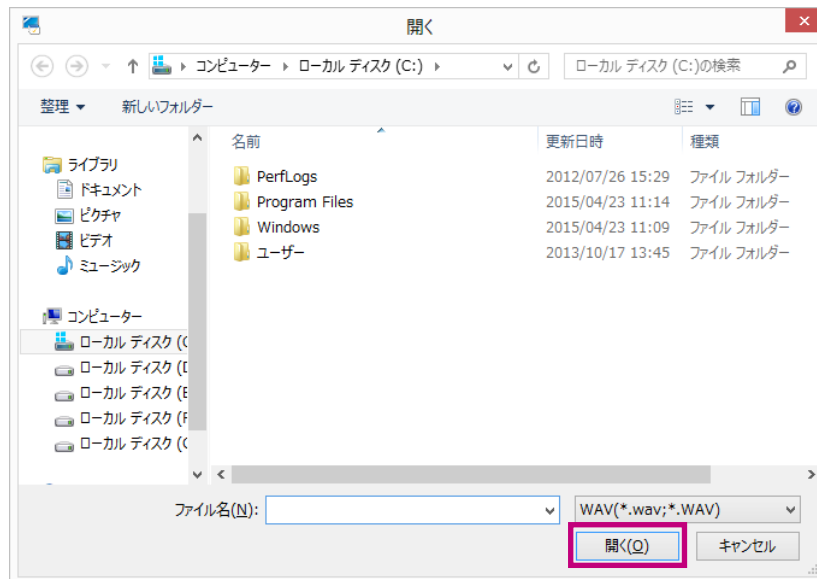
ファイル再生時に鳴動する、wavファイルのファイルパスが表示されます。

1. 「ファイル選択」をクリックします。

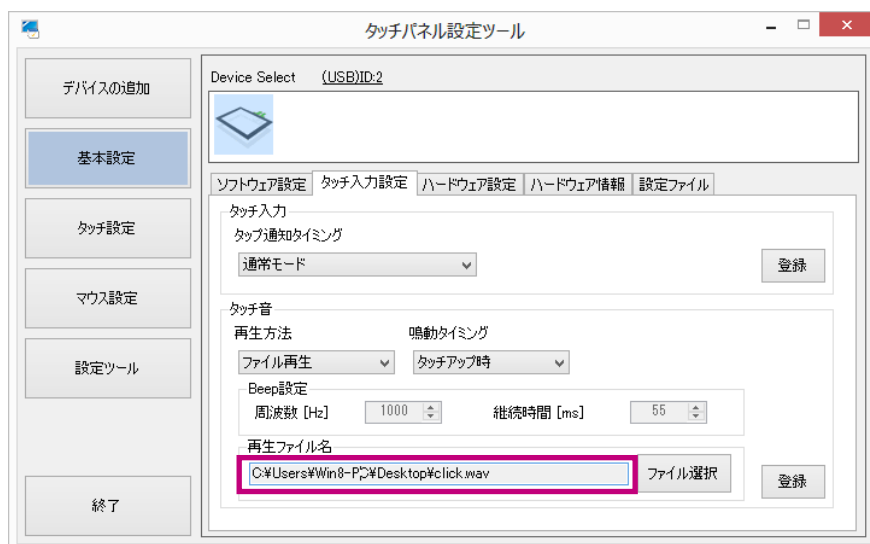
「ファイル選択」画面が表示されます。



2. wavファイルを選択します。「開く」をクリックします。



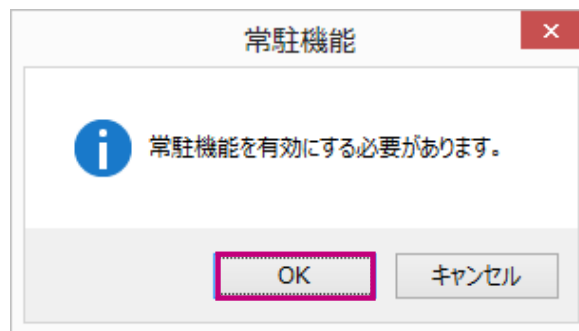
「再生ファイル名」にwavファイルのパスが表示されます。



注意点

タッチ音の鳴動について

- 「ソフトウェア再生」または「ファイル再生」の場合、常駐機能を有効にする必要があります。
- 常駐機能が無効の場合、タッチ音の設定を登録したときに次の画面が表示されます。「OK」をクリックします。



参考

- 常駐機能は「設定ツール」で設定できます。（「第6章 設定ツール」（P.36）を参照）

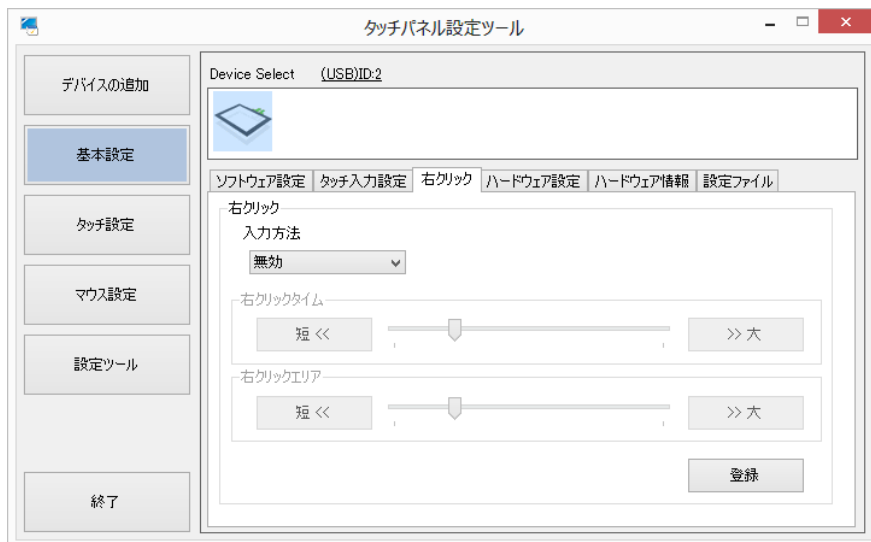


3-3. 右クリック設定

「基本設定」の「右クリック」タブを選択します。

注意点

- マウス入力をする場合（Mouse.mfdファイルを登録の場合）のみ、「右クリック」の設定タブが表示されます。



入力方法

初期設定：無効

- **無効**
「右クリック入力」は使用できません。
- **長押し**
タッチパネルを長く押し続けると、「右クリック」を使用できます。
- **2点タッチ**
現在2点タッチは使用できません。

右クリックタイム

初期設定：「300」ms / 最小「100」ms / 最大「1000」ms

「右クリックタイム」の設定時間を超えてタッチをした場合、右クリックを入力します。

右クリックエリア

初期設定：「300」 / 最小「100」 / 最大「1000」

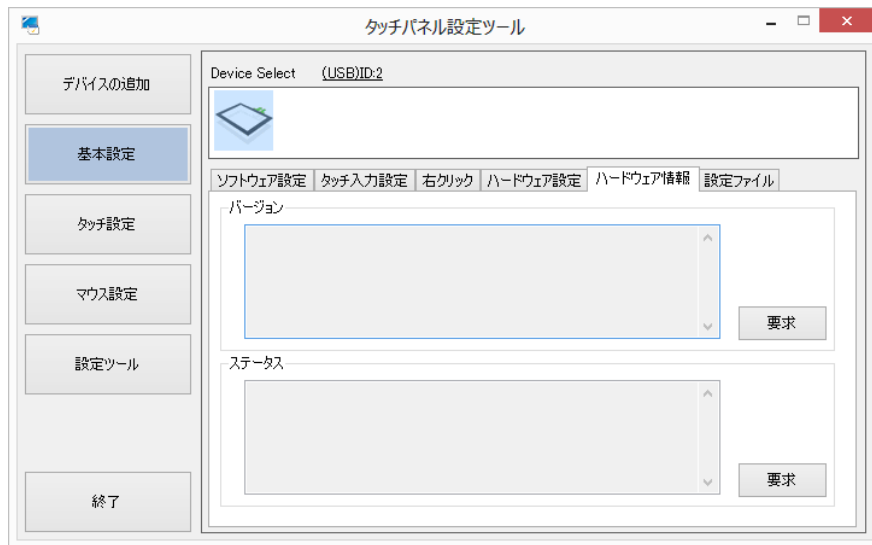
初めのタッチ位置から「右クリックエリア」を超えて動いた場合、右クリックは使用できません。

注意点

- 「右クリックタイム」 / 「右クリックエリア」は、長押しの場合のみ設定ができます。

3-4. ハードウェア情報

「基本設定」の「ハードウェア情報」タブを選択します。



バージョン

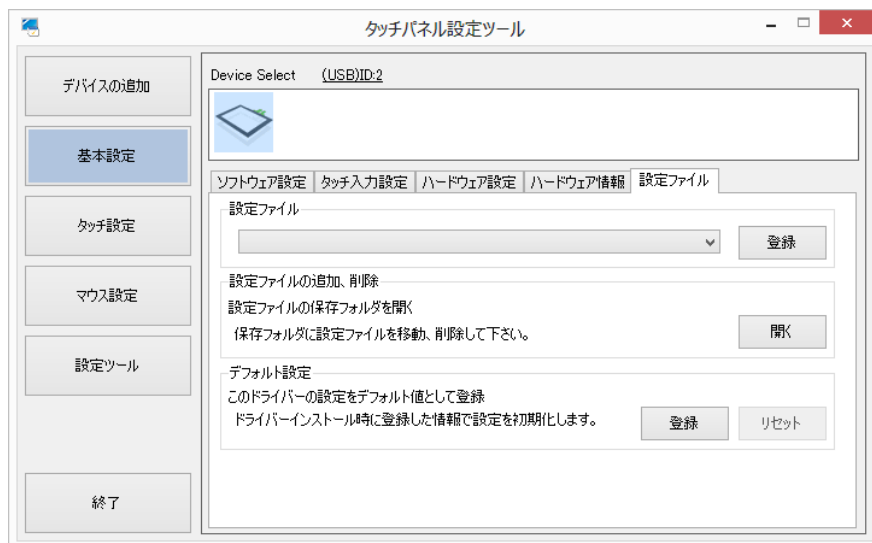
選択しているタッチパネルドライバ、またはタッチパネルコントローラのバージョンを確認できます。「要求」をクリックすると、接続されているタッチパネルコントローラの「バージョン」が表示されます。

ステータス

選択しているタッチパネルドライバ、またはタッチパネルコントローラのステータスを確認できます。「要求」をクリックすると、「ステータス」が表示されます。

3-5. 設定ファイル

「基本設定」の「設定ファイル」タブを選択します。



設定ファイル

初期設定：未登録

選択しているタッチパネルドライバ、またはタッチパネルコントローラの設定ファイルを変更できます。「設定ファイル」プルダウンメニューから、入力方法に応じたファイルを選択し「登録」をクリックします。

入力方法	ファイル名
タッチ入力をする場合	Touch.mfd
マウス入力をする場合	Mouse.mfd

参考

- ・ 初期設定は「設定ファイル」が登録されていません。設定ファイルが未登録の場合はタッチ入力を選択されます。マウス入力を使用したい場合は「Mouse.mfd」ファイルを選択してください。

設定ファイルの追加、削除

Windows Explorerで設定ファイルを追加、削除または移動ができます。

「設定ファイルの追加、削除」から「開く」をクリックします。設定ファイルの保存フォルダが開きます。

初期設定

選択しているタッチパネルドライバの設定を、初回接続時の初期設定として登録できます。

「デバイス追加」/「ソフトウェア設定」/「タッチ入力設定」/「右クリック設定」/「設定ファイル」を選択し、「登録」をクリックします。登録した設定は、タッチパネルドライバをインストールしたときの初期設定となります。

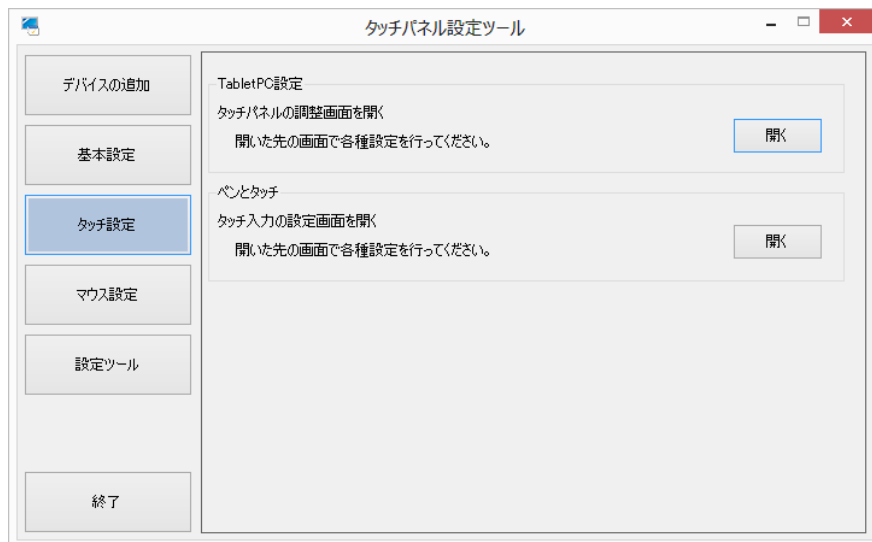
登録した設定を削除したい場合は、「リセット」をクリックします。

注意点

初期設定でマルチモニター環境を使用する場合、「調整」はタッチパネルの個体差などによって指に追従しない場合があります。そのときは、タッチパネルコントローラごとに「調整」を実行してください。

第4章 タッチ設定

「タッチ設定」を選択します。

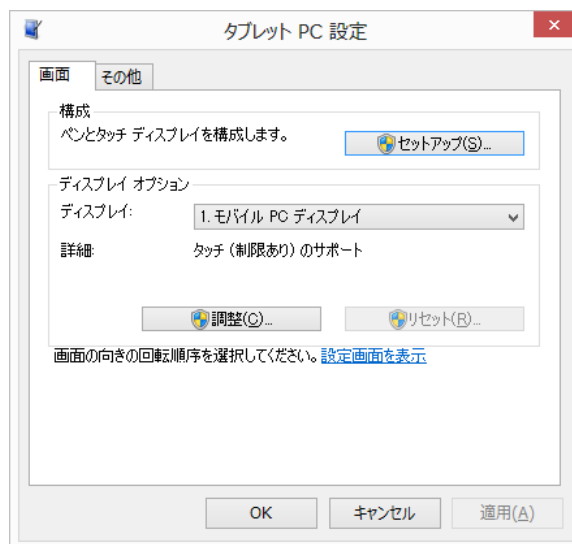


TabletPC設定

タッチモニターの構成や、キャリブレーションをおこなうことができます。

1. 「Tablet PC設定」 - 「開く」をクリックします。

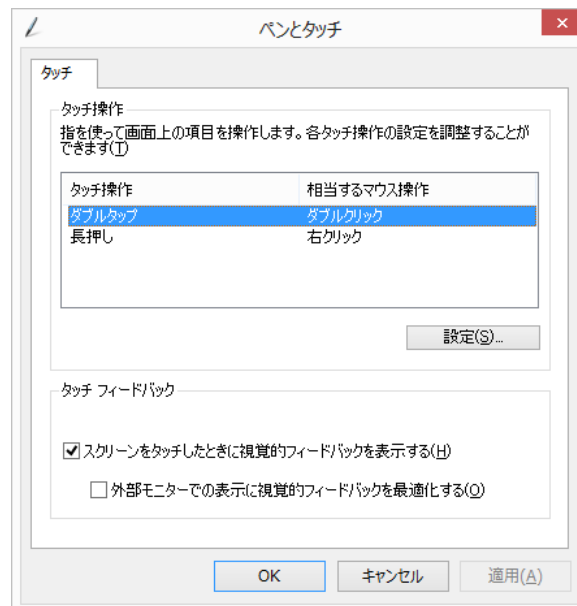
Windows標準の設定画面「Tablet PC」が表示されます。



ペンとタッチ

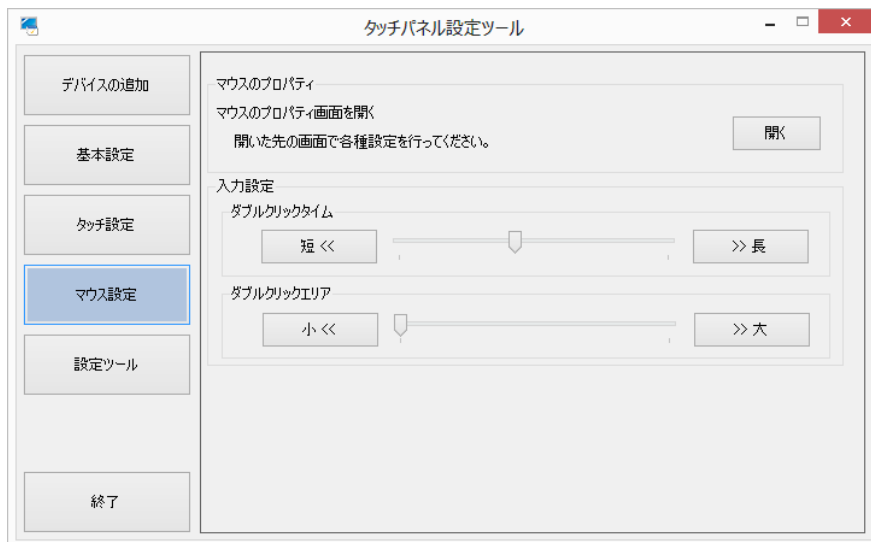
タッチ入力に関するWindowsの各種設定を呼び出します。
タッチ入力の調整設定ができます。

1. 「ペンとタッチ」 - 「開く」をクリックします。
Windows標準の設定画面「ペンとタッチ」が表示されます。



第5章 マウス設定

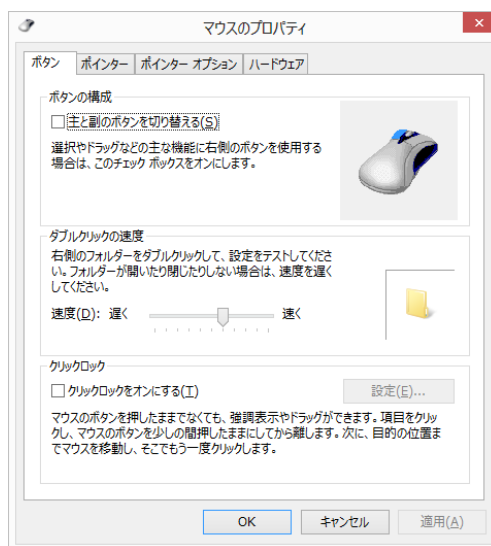
「マウス設定」を選択します。



マウスのプロパティ

1. 「マウスのプロパティ」 - 「開く」をクリックします。

Windows標準の設定画面「マウスのプロパティ」が表示されます。



入力設定

- **ダブルクリックタイム**
ダブルクリックとして認識される時間を設定できます。
- **ダブルクリックエリア**
ダブルクリックとして認識される範囲を設定できます。

第6章 設定ツール

各種の情報を表示します。

ドライバおよび、設定ツールのバージョン情報が確認できます。



常駐設定

機能によって常駐機能の登録が必要となる場合があります。

そのときは本機能を用いて常駐機能の有効、または無効を設定してください。

- 常駐選択チェックボックス

初期設定：チェック無し

選択チェックボックス	常駐機能
チェックあり	有効 ^{※1}
チェックなし	無効

※1 コンピュータの起動時に常駐機能が自動的に実行されます。

常駐機能について

常駐機能が有効な場合、次の機能が有効となります。

- タッチ音再生機能

「タッチ音入力」タブの「タッチ音」-「再生方法」から「ソフトウェア再生」または「ファイル再生」に設定した内容のタッチ音を再生します。（「3-2. タッチ入力設定」(P.26) 参照）

- 自動回転機能

マウスを使用する場合に機能します。（「■自動設定」(P.23) 参照）

注意点

- ・タッチ入力の場合、Windowsの機能として回転された座標が出力されます。特殊な環境などでWindowsによって回転がおこなわれない場合をのぞき、自動回転機能は有効にしないでください。
- ・モニターの表示方法（拡張、複製）を変更した場合、再度「デバイスの追加」から「モニター構成」を実行する必要があります。（「●マウス入力をする場合」(P.18) 参照）



EIZO株式会社

<http://www.eizo.co.jp>

Copyright © 2015 EIZO株式会社 All rights reserved.

初版 2015 年 10 月

03V25516A2
(U.M-DMT-DD)